

第3回笠間市保育所施設整備計画検討委員会会議録（要旨）

日 時	平成22年10月17日（日） 午前10時00分から午前11時40分
場 所	笠間市役所 2階大会議室
出席者	<p>【出席委員】</p> <p>高橋委員 大畠委員 横堀委員 柴山委員 川野輪委員 石本委員 塩幡委員 藤枝委員</p> <p>【欠席委員】</p> <p>畑岡委員 益子委員</p> <p>【事務局】</p> <p>櫻井子ども福祉課長 海老沢少子化対策室長 小薬保育G長 岡野主査</p>
会議次第	<p>1. 開 会</p> <p>2. 議 事</p> <p>(1) 第2回委員会までの検討状況について</p> <p>(2) 公立保育所の効率的な運営方針について</p> <p>(3) その他</p> <p>3. 閉 会</p>
傍 聴	傍聴者1名

委員長	第2回までの検討状況につきまして資料1としてまとめましたので、説明をお願いいたします。
事務局	—— 資料1について説明 ——
委員長	<p>前回までの2回の委員会で検討した事項、「1保育定数について」、「2保育サービスについて」、「3保育所施設について」、「4保育料基準額について」をまとめました。</p> <p>1から4までの項目についてはこの事で確認させていただきたいと思います。</p> <p>1から4までの点について何かご意見ございますか。</p>
委員	<p>2の保育サービスについて、病児病後児保育のニーズが高いという事で、「かさまっ子未来プラン」に基づいて増やしてゆくという事ですが、このプランを見ますと現在が、病児対応型が1か所・病後児対応型が1か所。</p> <p>平成26年度目標は体調不良児対応型が1か所から2か所で、病後児対応型が1か所から継続1か所という事で目標が低いような気がする。</p> <p>目標にあわせてではなくて出来れば早く、数を増やしても良いという気がしました。</p>
委員	<p>保護者の立場では、両親が働いていて子どもが病気になってしまった時に、何処に預けたらよいのか一番ネックになっている。</p> <p>子育てをする上で、全面的なバックアップのある場所とない場所では、やはりある場所にどうしても親たちは住みたくなる。</p> <p>そうした点を考えて、病児・病後児の部分をもう少し早く進めてくれたら笠間市はより子どもを育てる上で良い市になると思います。</p>

事務局	<p>「かさまっ子未来プラン」という計画に従って」という文言が適切かどうかという事であれば、それでは委員さんは足りないのではないかとということです、この会では「率先して進めるべきだ」という意見をいただければと思います。</p> <p>次世代育成の計画ではそういう数値目標となっていますが、この検討委員会ではもっと「先んじて」「前倒しして」とか「よりいっそう進める」とかの表現に直したほうが良いというご意見だったと思いますので、そのように修正をした方がよろしいでしょうか。</p>
委員長	<p>提言で出すときに、「基づいて」ということではなく、「もっと」「さらに」という表現に直した方が良いということです。</p>
副委員長	<p>それに付け足して、「さらに」よりも「早急に」という形ではないかなと思います。</p> <p>学校でもそういう事情があり、具合が悪くても両親が迎えに来られなくてずっと学校に残っているということがある。</p> <p>実際学校でそういうときに対応できる職員がいなくて困ったときがある。</p> <p>出来るだけそういう病後児の施設が早く出来ればそれにこしたことはないと思う。</p>
事務局	<p>それでは、ただ今の部分は「その量の問題」と「時期の問題を早めに」という考え方ということをとという表現にしたいと思います。</p>
委員長	<p>そのように盛込んで「2、保育サービスについて」はまとめてゆきたいという事でございますので、それを入れてゆきたいと思います。</p> <p>その他に1から4のところにおいていかがでしょうか。</p> <p>特に他にございませんでしたら、今の保育サービスのところを盛込み、1から4はこの方向で意見を集約するということで確認させていただきます。</p> <p>次に「5 公立保育所の効率的な運営方策及び幼保一元化について」ですが、公立保育所ということで岩間地区には公立保育所は無いので笠間地区と友部地区について検討してゆきたいと思います。</p> <p>その事については何かご意見はございますでしょうか。</p> <p>笠間地区にまず限定いたしまして資料2に、保育所と幼稚園の状況など前回までに出した資料を整理していただきましたので、その笠間地区の状況について説明していただきたいと思います。</p>
事務局	<p>—— 資料2から「笠間地区」について説明 ——</p>
委員長	<p>笠間地区ではてらさき保育所いなだ・くるすと三つの保育所で保育を行っていると言う事で、今説明にあったように老朽化している施設の問題もあるということです。</p> <p>また、公立幼稚園については笠間幼稚園と稲田幼稚園の2か所でこの笠間地区の公立保育所の運営に関して、このような状況を踏まえて意見をいただきたいと思います。</p> <p>今、定員の状況とかは説明をいただきましたので、老朽化の問題が築年数を見たところでも大きく見えてくるわけです。</p>

	<p>なにか意見がございますでしょうか、笠間地区の公立保育所の運営のあり方についてということに絞ってご意見をお願いいたします。</p>
委員	<p>幼稚園側なんかも46年と39年という事になっているのですけれども、こちらなんかは今後の計画なんかは建物については耐震診断・補強工事についての計画なんかは出ているのでしょうか、それとも建て替えの計画でしょうか。</p>
委員長	<p>今は公立保育所のことなのですが、幼稚園についてはどうなのでしょう。</p>
事務局	<p>学校施設、教育委員会のほうの所管ではあるのですけれども小中学校の学校施設と併せまして幼稚園施設につきましても、耐震化計画、耐震調査計画ですか、計画が立てられておましてその計画に基づいて、計画的に耐震調査を進めているというような状況と聞いております。</p>
委員	<p>市では幼保一元化という事を、まだ決定はしていないでしょうけれども、将来的にはそういう計画、というか見通しというのはどうなのでしょう、施設の老朽化に伴いまして一元化という事も考えられますか。</p>
事務局	<p>国の子ども子育て検討会議の下部組織の幼保一体化のワーキングチームの会議が9月14日にありまして、国のほうでは幼保一体化はする、23年に法律を作って25年に実施するというスケジュールにしたがってゆくということです。</p> <p>笠間の場合ですと老朽化を考慮しながら施設運営を考えざるを得ないし、施設を効率的に運営してゆく、建築してゆきます。</p> <p>幼稚園のほうは、老朽化が進んでいるのが実情ですので、保育所も老朽化が進んでいる施設があるのは事実ですので、その部分と公立3保育所と2幼稚園の運営を考える時に、法律が変わればそれに則った運営になります</p> <p>国の法律が出ていないという状況ですので、こんな風にしたほうが良いと市のほうにおっしゃっていただければありがたいと思っております。</p>
委員	<p>民間委託とかの方向付けは、まだ見えない状態ですか。</p>
事務局	<p>笠間市では児童福祉施設に限らずに公立の施設について、民間委託を進めるという事を、行財政改革大綱の中で言っていますので、指定管理者制度なり民間委託を進めるという方向で進んでおります。</p> <p>保育所もそのうちの一つだという事で考えざるを得ないというのが現実です。</p> <p>ただ、何時からとか、保育所を今すぐという事ではありませんので、運営方針として指定管理者にするなり、現状のまま公立がまかなって適当なのかというご意見も併せていただければと。</p> <p>公立が行なうのか私立が行なうのかというと、公立が行なうと人件費の問題で、国の補助金が行政の部分に来ないという事があって民間に任せたほうがという議論の方向に行ってしまうのですが、公が行なうべきものと私立が行なうべきものとそういう整理をした上でなど、いろんな考え方があると思いますのでご意見をいただければと。</p> <p>笠間市では施設は民間委託を推進するという立場に立っておりますので、率先してなど、先ほどの保育サービスではありませんけれども、この中で進めたらどうかというご意見は当然だと思いますので、意見をいただいて保育所運営のほうに反映させて行きたいと思っております。</p>
委員長	<p>こども園の方向が出ているということと、施設の民営化という事について意見がございました。</p>

笠間地区において、老朽化している築年数の高い保育所や公立幼稚園がある。

今、保育所についてはニーズが高いということで、幼稚園においては公立幼稚園は定員を下回っているけれども、それなりに入園している。

今後はこども園というところに、という事で、国の方向性を受けながらそのようにしてゆく。

運営のところにおいては、いろんな関係で民営化という事を考えざるを得ないことも出てきているというような事でした。

笠間の保育所というところのあり方についてということでご意見をいただきながら、幼稚園との連携も自ずとこども園の話が出てきましたので視野に入れなくてはいけないということが、ここではっきりしてきたと思います。

委員

今後、この公立の状態をこのままにしておくのか、それとも公立の状態を実際問題として子どもの数が減ってきている、そう言う部分から考えて、公立を減らして行って民間の方に委託を進めてゆくのかという事が、解らなかったのですけれども。

あと一つ、私立の場合は教育面とかの部分で充実、公立より大分進んでいるなどという気がします。

ひらがなの勉強とか色々小学校に入る準備段階、幼保一体になると、幼稚園さんがすすんでやっている小学校に入る段階の準備なんかも入ってくるのかなと言う部分を聞きたいのですが。

事務局

幼保一体化は国の方では、同じ施設で0歳から5歳まで預かる施設にしようとして今考えています。

そこは、幼稚園という名前、保育所という名前、認定こども園という名前は無く「こども園」にしてしまおう、そして0歳から2歳までの子どもは保育、3歳から5歳までは教育、幼稚園のようにですね、を中心に見るのはどうだろうと考えています。

現在の保育園は0歳から5歳まで預かっていますが、中のカリキュラムは、幼稚園に非常に近くなる、3歳から5歳まで預かる時間は今までのように7時から5時までだったり6時までだったりします。

ただ今度、幼稚園は、認定こども園の幼保連携型のように9時ごろから3時ごろまでというところが、今度は0歳からも預かれる、預からないと先々の運営の話ですけれども、先々は保護者が選ぶようになりますので、施設を、何処に預ける、そうすると親が長い時間預けたいと思えば、選ばれなくなって来るので保育園と同じように7時半ごろから6時ごろまで運営するようになるだろう。

行政で公立保育所と幼稚園を持っている笠間市としては、当然それに対応する施設にする。

とすると、二つあるものを一つにする、施設を一つにするのか機能が一つになるので、その部分は市としてどのようにするのか、当然のように機能を一つにするのですから、老朽化の話のようにどっかで一緒にするのが効率的だろう、ということで、一体化の方で進まざるを得ないと考えています。

民営化の話としては、その時に運営は同じ公立のままで運営してゆくのが良いのか民間の方の手を借りて行なってゆくのが良いのかという部分では、公立が担わなければならない事を、その場でするとゆうことがあるのであれば、公立が行

	<p>なうべきなのだろうと思うのですけれども、民間と同じ事をするのであれば、民営化も視野に入れて、新たな幼保一体化の運営をしてゆくのが、という事になるのかなと思います。</p>
委員	<p>数が減ってゆくと、必然的に私立の幼稚園保育所を希望する親も増えてくると 思います。</p> <p>その減った分の予算を、今まで以上に私立の方に予算をわりふって設備をもう 少し整えて欲しい。</p> <p>私立の方にも希望があるのであれば予算を膨らませて入れられるようにしよう とか、そういうのはどのようになっているのかというのが知りたい、それを知る上 で何を見たらよいのかというのが解らない。</p> <p>入園する前に一覧としてホームページ等に、こういう状態で場所がありますよ とか、ですので選んでくださいという形で、やっていただけると、比較する欄があ ると解り易いのかなと思います。</p>
事務局	<p>保育所のほうは比較が出来るように、入所のしおりとかをホームページに載せ ているのですが、幼稚園の方はあいにく。</p> <p>今後先程の幼保一体化の会議資料では施設整備はすべて国の基準によってやっ てゆく、その指導監督は都道府県がする、その実施については市町村が責任を持て という流れになっています。</p> <p>ある一定の水準を越えれば市はその施設は、幼保一体化の施設であると指定 をするという事での制度設計になっています。</p> <p>ですから、今後、施設を選ぶという意味では、前提条件として選ばれるのが大前 提だと思いますし、選ばれるためには行政としては施設を指定したのですから PR は当然ですし、いわゆる情報公開という部分ですか、その中で保護者が選ぶと状況 を作るのが当然だと思います。</p> <p>その後、運営の方は第三者委員会、評価の方はここが良かった悪かったという評 価をして皆さんにお知らせするというようなところまで議論は進んでいるよう です。</p> <p>こういう話が国の方で進んでいて、保育所をどうしましょうかということ ですので、この意見が市は別なところで行かなきゃならないようになっていま すけれども、皆さんからご意見をいただくのは、こういったことに注意して、しな さいということになってしまうのかも知れません。</p> <p>今の話は国の方でこう考えているので、こうなるだろうという、資料を読んだ結 果をお伝えしているだけなので、そのとおり行政としては民間が行なっている のであれば、指導はしますし、行政がするのであればそのとおり行なってゆく ことをご理解をいただければと思うのですけれども。</p>
委員	<p>私はスポーツ少年団に関わっているんですが、毎年強いチームは決まっていま す。</p> <p>なんでそのチームが毎年強いのかというと、チーム自体のプランとか考え方、監 督さんの考え方、育成システムが良いということで周りの市町村から引っ越して くるのです。</p> <p>そしてそのチームに入るのですよ、だから毎年そこが強いのです。子どもを育て る上で、笠間市が良いということであれば、逆に周りの市町村から引っ越してきて</p>

	<p>育てるという環境になるかもしれません。</p> <p>そういう部分を含めて、小学校に入る前、子育てというのは一番大変だと思うので、そういう部分で手厚くしていただけたらと思っています。</p>
委員長	<p>今、保護者の立場から、よく見えるような形で今後の保育所施設のほうに一体化の話があったとしても、見えるような形でというご意見がございました。</p> <p>私も教員養成をしているのですが、カリキュラムも保育所と幼稚園別々であったのが、3歳以上は幼稚園に保育所は近づいてきましたし、幼稚園の方それもスムーズな小学校への接続という事と、幼児教育、幼児時代にしか学べないといいますが、その時の人生というところで0歳児から小学校の先生も小さい子について学びたいというようなことになってきて、やはりこの根っこのところの部分を教育のありようというのを教育者の方においても、行政のほうも力を入れるというようなことになっていきます。</p> <p>施設においてもやはり環境というところで、環境による教育というのは非常に大きいですね、ですので、建物とか私たち大人ですとそれほど建物というのは工夫して出来るということはありますけれども、環境に左右されるところが建物とか状況に子ども時代大きいので今後とも二つの保育所と幼稚園がどのような方向に行くかという事においても建物含め基本的な環境というものを整えてゆくのが市でもやっていただきたいと思います。</p> <p>笠間においてはそういう意味で築年数が高いところが幼稚園においても保育所においてもあるというようなことで今後そういう検討のところで一つの、このところはどうしたらよいとかのところで焦点があたってくる</p>
委員	<p>いろんな行政改革をして行く中で、友部は確か2か所保育所があったのを1か所にしたのですよね、笠間地区についてはそういった考えは無いのでしょうか。</p>
事務局	<p>旧笠間市も減らしたのですよね、市内の二つあったのを1か所にくるすに統合したので、地域性から見ると現在の3か所は確保すべきなのだろうと思います。</p> <p>保育する施設として市民要望からして3か所の立地は適切なのかなと、ひよつとすると市民の立場からすると、一つぐらい別なところにあってもというようなお考えはあるかもしれませんが、ただもしも移すというときは、建て替えという時は可能性があるものの、箇所数は3か所確保するのがよろしいのではないかと思います。</p>
委員	<p>こども園という事になると、私立と一緒にすることも考えられるのですか、私立の幼稚園となにかしらの公立の施設が。</p>
事務局	<p>考える前提にはあると思いますが、まず公立幼稚園と公立保育所の方を先に考えて、その次に公立の何らかの施設と私立の幼稚園というような選択肢なのかなと思っています。</p> <p>行政が両方持っている部分をどうするのだ、というほうがまず目の前にあるのかなと思います。</p>
委員	<p>笠間市の考え方について話が出ていますけれども、市の行政改革大綱の中でも保育所また幼稚園についても民間委託とかそういうことも検討しなさいよとなっています。</p> <p>ただ、検討しろといっても事務局からもありましたように幼保一体化のような話が出ていの中で、まだまだ進んでいないというのが現状です。</p>

	<p>ですから、こういう会議、皆さんがたの意見の中でどういう意見が出るのか、そういうのを参考にしながらこれから検討をするということになると思います。</p> <p>市の保育所についても極端なことを言えば、建て替えて民間の方に任せても良いのじゃないかという様に考える人もいると思う、そういう意見とか、市でやっていた方がよいよという意見など、意見を聞きながら判断することになると思います。</p>
委員	<p>民間が出来ることは民間にやっていただいて、その指導みたいなことは、市の責任においてきちんとやっていただけるようにした方がよいのかなと思います。</p>
事務局	<p>私立は自分のところで努力した結果がという部分がすぐ見える部分があります。</p> <p>公立は横並びといえますか施設管理での競争は中々出来ない、同じ公立ならば、三箇所あれば三箇所とも同じようなサービスをするというようなところがあります。</p> <p>笠間地区の二つの公立の幼稚園がこれだけ少なく、私立の幼稚園が多いという事を考えますと、そういう面を反映している部分なのかなと思います。</p> <p>それを保育所に、変えてみるとサービス部分では保育は国から同じサービスを、私立でも公立でも同じサービスをするということになっていますので、その差は出にくいかもしれません。</p>
委員	<p>笠間市に公立が多いものですから、合併して一つになったので、友部地区・岩間地区・笠間地区に1か所ずつくらい公立があるのが理想なのかなと、なかなか難しいものですがけれども。</p>
事務局	<p>そういう面では、先程委員からありましたけれども、その公立のところで病児・病後児保育なり、サービスを公立が担うことが、手なのかなと思います。</p>
委員	<p>てらざきさんがかなり老朽化していますが、こちらはあとどれくらいの耐用年数があるのですか。</p> <p>それまでにはどうしても方向付けをしなくてははいけないでしょう。</p>
事務局	<p>国の中では耐震化をしなくてはならないということではないので、耐用年数的には鉄骨作りですのでまだ大丈夫だと思います。</p> <p>しかし、子どもを預かっている施設なので、この会でご意見をいただいたように、年数がたっているところは確認をして適切な対応をしろという部分なのだろうと思います。</p> <p>ただ、30年もたった施設なので今の公立で言えばくるす保育所と同等の施設サービスを提供しているかと言えば、提供していないのは現実ですので、その面はレベルアップをするための方策は考えてゆく必要があります。</p> <p>ですから、この会の答えとしては、てらさきと言う名前が具体的にあがるかどうかは別ですが、結果としては真っ先に考えていくことになると思います。</p> <p>先々を見ますと、てらざきの敷地ではあそこでは建て替えは出来ないのかなと思うのですが。</p>
委員	<p>保育所になる前に学校か何かの建物を利用したのですか。</p>
事務局	<p>てらざき保育所は、元々寺崎の小学校があったのですが、小学校が無くなって佐城小に移ったので、敷地が道路が出来て二つに分かれてしまったので、一方が公民館もう一方が保育所に、もう一つ大町の方にあったのですが、そこが古くて今のて</p>

	<p>らざき保育所の所に新しく建てました。</p> <p>同じくらいの時期に、今は社会福祉協議会になってしまったのですが、あそこが保育所として造って、その後平成11年にくるす保育所が出来たのですが、それが石井にあった保育所と下市毛にあった保育所と一緒にしてくるす保育所に合併しました。</p> <p>旧笠間に4箇所保育所があって定員が併せて400くらいあったのですが、このころ子どもの数が減ってきて統合するときに保育所の定員を減らしています。</p> <p>てらざき保育所ももともと100人だったのですが、0歳児保育を始めたりして、定員を減らして小さい子どもさんの受入れが出来るような施設にしています。</p>
委員長	<p>笠間についてはよろしいでしょうか。</p> <p>次は友部地区の公立保育所という事で資料の説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>—— 資料2から「友部地区」について説明 ——</p>
委員長	<p>今の説明で、友部地区は公立が保育所1か所、私立の保育所が3か所、幼稚園が3園とも私立の幼稚園である。</p> <p>入所については保育所については103.3%、幼稚園が63.8%という事なのですが、なにか運営のあり方についてご意見をいただきたいと思えます。</p> <p>保育所においては、何処の保育所も平成になって造られているということ古いところでも平成元年、築年数としては新しいという気がしますけれども。</p>
委員	<p>友部に限った話じゃないのですけども、土曜日の開設時間、園の公立の場合は土曜日は1時までですか、これを延長することは出来ませんか。</p> <p>民間はだいたい今土曜日でも4時とか5時でやっているところが多いですけれども、そういう要望はどうなのでしょうね。</p>
委員長	<p>土曜日の利用者は沢山いらっしゃるのですか。</p>
事務局	<p>土曜日は少ないです。</p> <p>ですから、公立だと保育士2名で対応しています。</p> <p>笠間の場合、休日は行なっていませんので、休日は認可外とか、平日遅い時間という方は公立の方がとか、土曜日でも5時頃まで預けたいということであればそういう保育所の方を選ばれているのかなと思えます。</p> <p>公立もそういう要望があれば当然保護者の方、子どもを保育できない方が多くなればしてゆくのが当然だと思うのですが、居ないのが現状です。</p>
委員	<p>だんだん需要は増えますよね。</p>
事務局	<p>そうですね。</p>
委員長	<p>賃金というか人件費とも絡みますか。</p> <p>公立は土曜日に行こうとすると園長が居ませんとかがありまして、かなり限定された人数なのでですね。</p>
事務局	<p>最初の会議に資料としてお出ししたと思うのですが、保育所の職員分布では、笠間市の保育所に勤務しているのは70名弱ですが、このうちの正職員は三分の一しか居ません。</p> <p>その三分の一の中に園長というか所長も含まれるということになると、実質のクラスを持つ保育士は減っている、嘱託職員でまかなっていると対外的な所を預かる正職員は勤務が週40時間なので、朝晩早出遅出の11時間保育していると、土曜日には園長はなかなかいられない、平日の重い部分を負担しているというの</p>

	<p>が現実なのですね、これが民間に行けばどうなのかという事ではないのですけれども。</p> <p>民間でも同じ給与に園長の勤務時間は8時間で行くのだろうと思いますので、人件費というものよりも40時間の勤務時間を1日の10何時間で割り振ってゆくと最終的に土曜日の時間はシフトでやっても、園長などの管理職は平日に居た方がということになると思います。</p>
副委員長	<p>質の高い保育・教育をするととなるとそれなりに予算を確保してゆかないと難しいのかなと。</p> <p>延長保育の面なのですけれども、ここのところ目立ってきているのが、預けなくても済むのに預けてしまう社会事情でしょうか、そのような現象が出てきているようで、そうしますと子どもの将来も、成長の面を考えますと、むやみに保育時間を延ばしてゆくのがプラスになるのか、そういう疑問も出来てくると思うのですよね。</p> <p>実際に休みであるにもかかわらず土曜日預けておけばいいかなと、預けている例があるのではないかと。</p>
委員長	<p>土曜日に親は休んでいても子どもを預けて、親業が出来ないというかそういう親も増えてきていると。</p> <p>保育所や幼稚園も親を育てるところが、来ている親だけではなくて地域の親を育てるということも役割であるので、親を育てるといのはいろんな面で育ててゆかなくてはならないという事情があると思います。</p> <p>長い時間だけ密度の濃い保育が、保育の質ですね、一方で現場の保育士さんの質を上げて、親が見ていても逆に虐待してしまいそうになる、そういう親も居ないようにするような部分もありまして、非常に大事な部分なのですけれども。</p>
委員	<p>土曜日に預かると料金なんかは。</p> <p>別料金が発生するのですか。</p>
事務局	<p>土曜日の預かり自体は別料金になっていません。</p> <p>委員の言われました、預けなくても済むとき預けている人というのは確かにいます、土曜日休みなのに毎週のように預けている方、夕方4時ぐらいに終わるのに夜7時ごろまで預けているような方には指導を行っています。</p> <p>預けなくて良いときは、仕事が休みのときは家庭で見るとか仕事ではないときに預けるのは駄目ですという指導は、年間そんなに多くは無いですが何人かの人に指導しているのが現状です。</p>
委員	<p>実態にあるということなのですね。</p>
事務局	<p>公立の場合は指導を徹底してやった時期があるのですよ、仕事が休みのときは保育所を休ませるといのがある程度理解を得て、土曜日預ける方というのが随分減ったというのが現状です。</p> <p>公立だけではなく私立の保育園も、やはりはなはだしいような保護者がいれば園の方からも指導してもらいますし、それでも聞かないような方は我々担当から指導いたします。</p>
委員長	<p>子どもをみたいという意識が薄れて、そういう体験がないままきちゃくと、預けておけば楽というような、子どもと触れることが出来なくなりますね。</p>
委員長	<p>そのへんの親の教育というのが、保育所・幼稚園そういうところでの課題があり</p>

	ます。
委員	そういう人もいるけれども、そうでない人もいるという事を。
委員	そうなのですね、実際時間が無くて子どもをなんとか預かって欲しいというのが本来ですからね。
委員	そういった人も居ますからね、そうした人のために開けておけば、開けておいて何らかの形で規制をかけるというのは良いけれども、最初から切ってしまうのは。
委員	<p>保育所に入るときになんですけれども、説明会を受けた時に、基本的には金曜日まで、ということで土曜日に預けたい方がいればという事で、その方は残ってください、と保育所の方に案内されました。</p> <p>多分、園を選ぶときに土曜日預けたいという方は、旧笠間の公立保育所なので、親が判断して、最初に違うところを選んでいないかというのが現状だと思うのです。</p>
委員	<p>だから保育所の説明もそれでよいのかなと思います。</p> <p>土曜日預ける方は残ってください、時間も言わずに、それで残らなかった方は選択肢に土曜日はどちらかという親のどちらかが残っている状態が今多いのかなともし残っていない方は、私立の所に、という形になっているのかなと思うのですけれども。</p>
事務局	<p>地域性もあるのだと思います。</p> <p>旧笠間のほうは民間の託児所、そういうのもあってそのうちの一つは24時間対応なので、仕事は土曜日だけではなくて日曜日でも販売店であれば当然仕事している方がいると思いますが、夫婦で土日仕事の方では保育所だけでは無理なので託児所へという利用も旧笠間についてはあるのだと思います。</p> <p>だから逆に託児所が経営できている一つの要因なのかなと思われませんが、その辺のアンケート取ったりとかはしたわけではないのですけれども。</p>
委員長	<p>委員の方では公立というところで土曜日が1時まででいいのかという意見が出されたところです。</p> <p>笠間地区と友部地区について効率的な運営の方策について検討してまいりましたけれども、笠間地区においては老朽化が進んでいる保育所について施設の改築に併せて今後のこども園なども念頭において検討してゆくというようなことも出てまいりました。</p> <p>また、定員を下回る状況が続いている保育所については今後の保育ニーズに考慮しながら公立幼稚園との連携も視野に入れなければならない。</p> <p>かさまっ子の計画での目標値を高く、また早めにするというのが最初の段階でございましたけれども、今後の保育ニーズも考えながら保育所と幼稚園が連携してゆくということも必要になってくると思います。</p> <p>そして、民間の力も活用することも必要ではないかという意見も出ました。</p> <p>また、友部地区においては入所率が比較的高いという事で、当面は現在の体制でよりいっそうサービスの充実に努めるという事、そして待機児童の動向を注視しながら幼保一体化への対応も検討してゆく事も出てくるのではないかと、いう事になります。</p> <p>このような方向でいろんな意見でしたけれども、施設の整備計画というところ</p>

	<p>の委員会の段階ではこの辺のところで意見を集約するというところでよろしいでしょうか。</p> <p>ご異論が無ければ公立保育所の効率的な運営についてはそのような方向で集約して検討事項の意見集約としてゆくという事で終わらせていただきたいと思います。</p> <p>次回4回目が最終的な取り纏めとなります。</p> <p>事務局の方をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、第4回の日程につきましてご検討をしていただきたいと思います。その前に意見交換の中でも出ていました国で進めております、幼保一体化の検討の進み具合、検討状況について簡単にご説明したいと思っております。</p>
事務局	<p>—— 国のワーキングチームの開催状況について、内閣府のホームページから得られた状況を説明——</p>
	<p>次回会議日程を11月28日 午前10時から 市役所本庁大会議室と決めて終了</p>